



【留萌市】

はじまりは？

地域資源を活用して、新しい商品を開発したり新しいビジネスモデルを提案することにより、地域との繋がりの大切さに気づかせ、社会に貢献する態度と心を育成しています。

1. 地域の農林水産物を使い商品開発を行い、製品化した物を流通するような活動を行います。
2. 地域企業や地域の団体と連携を図り、ビジネスアイデアを提案・実践させます。
3. 商品開発をする過程において、地域のことをより愛することができるようになります。



開発した商品

おもな活動



地元イベントの様子

これまで地域の特産物を使用して開発した本校オリジナル商品も数々あり、それらを様々なところでPRしています。

昨年度と本年度は、留萌・札幌・三重・東京などに代表生徒が出向き、一般のお客様だけではなく企業のバイヤーにも売り込んできました。その結果、商品そのものだけではなく留萌のPRもできました。

また、地元のイベントなどにも積極的に参加し、販売活動を行っています。

ここが自慢

【地域との協力関係が一層強化】

今年度の取組の中では留萌観光協会と共同で留萌の塩づくりを行っています。海に観光協会と海水を取りに行き、留萌市農村交流センター「こさえーる」に行き乾燥をさせ、商品化を目指しています。開発の途中ですが、入浴剤に入れるなど付加価値のある商品の完成を目指しています。

また、これまでの活動の成果により、本校の活動が広く知られることによって活動の協力依頼が多く寄せられており、地域の方々との協力関係が一層強化されています。



海水を煮詰める作業の様子

データ

■代表者: 学校長 小松 信夫さん / 設立: 1998年 / 会員: 107名 (情報ビジネス科生徒)

■連絡先: 北海道留萌市千鳥町4丁目91番地 (情報ビジネス科)

■電話: 0164-42-2474

■FAX: 0164-42-1417

■HP: <http://www.senbou.hokkaido-c.ed.jp>